

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和4年7月20日(2022.7.20)

【公開番号】特開2022-58532(P2022-58532A)

【公開日】令和4年4月12日(2022.4.12)

【年通号数】公開公報(特許)2022-065

【出願番号】特願2022-1513(P2022-1513)

【国際特許分類】

A 24 F 40/50(2020.01)

10

A 24 F 40/46(2020.01)

A 24 F 40/51(2020.01)

【F I】

A 24 F 40/50

A 24 F 40/46

A 24 F 40/51

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月7日(2022.7.7)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の蓄電部を含む細長いエアロゾル生成器と、

前記エアロゾル生成器が着脱自在に結合された充電器と、

を備えるエアロゾル生成装置であって、

前記充電器が、

30

第2の蓄電部と開口を有するケースと、

前記第2の蓄電部の電気的に接続された、前記ケース内の電力供給装置と、

前記開口に配置されて前記ケースに回転自在に接続された収容部であって、前記エアロゾル生成器が着脱自在に挿入された収容部と、

前記収容部上の第1の充電端子と、

前記電力供給装置と前記第1の充電端子に接続された配線と

を有し、

前記エアロゾル生成器が前記第1の蓄電部に電気的に接続された第2の充電端子を含み、前記エアロゾル生成器が前記収容部に結合されたときに、前記第1の充電端子が前記第2の充電端子に接触する、

40

エアロゾル生成装置。

【請求項2】

前記充電器が、前記第1の充電端子に隣接する前記収容部内の第1磁性体を含む、請求項1に記載のエアロゾル生成装置。

【請求項3】

前記第1の充電端子が前記第2の充電端子に対向するとき、前記エアロゾル生成器の外側表面は磁力によって前記収容部に接触する、請求項2に記載のエアロゾル生成装置。

【請求項4】

前記電力供給装置は、前記第2の蓄電部が前記第1の蓄電部に電力を供給することを許容する、請求項1に記載のエアロゾル生成装置。

50

【請求項 5】

前記充電器が、前記電力供給装置が前記第1の蓄電部に前記第2の蓄電部から電力を供給することを活性化するか又は非活性化するボタン部を含む、請求項4に記載のエアロゾル生成装置。

【請求項 6】

前記エアロゾル生成器が、

前記第1の蓄電部により電力を供給されたヒータと、

前記第1の蓄電部の前記ヒータへの電力の供給を制御する制御部と、
を備え、

前記電力供給装置が前記第1の蓄電部に前記第2の蓄電部からの電力を供給するように活性化されたとき、前記制御部は前記第1の蓄電部の前記ヒータへの電力の供給を許容する

10

、
請求項5に記載のエアロゾル生成装置。

【請求項 7】

前記電力供給装置が前記第1の蓄電部に前記第2の蓄電部からの電力を供給することが非活性化されたとき、前記制御部は前記第1の蓄電部の前記ヒータへの電力の供給を遮断する、

請求項6に記載のエアロゾル生成装置。

【請求項 8】

前記充電器が、前記収容部に第2磁性体を含み、前記第2磁性体は前記収容部の回転中心を基準に前記第1磁性体に対向している、請求項2に記載のエアロゾル生成装置。

20

【請求項 9】

前記充電器が、前記ケース内に第3磁性体と第4磁性体とを含み、

前記第3磁性体は前記収容部の前記第1磁性体に対応し、前記第4磁性体は前記収容部の前記第2磁性体に対応している、

請求項8に記載のエアロゾル生成装置。

【請求項 10】

前記第2磁性体が前記第4磁性体に磁力で結合されていないとき、前記第1磁性体が前記第3磁性体に磁力で結合され、

前記第2磁性体が前記第4磁性体に磁力で結合されているとき、前記第1磁性体が前記第3磁性体に磁力で結合されない、

請求項9に記載のエアロゾル生成装置。

30

【請求項 11】

前記エアロゾル生成器は円筒形状に形成され、

前記収容部は前記エアロゾル生成器の外側表面に面して対応している内側表面を有し、前記収容部の前記内側表面は前記エアロゾル生成器を支持する、

請求項1に記載のエアロゾル生成装置。

40

50